



2023年度

自己評価について

幼保連携型認定こども園
Kids Island うちがしま



自己評価の方法



当園の保育理念・方針・目標、年度ごとの保育目標、各クラスの保育目標と照らし合わせ、下記項目について評価を行いました。

1. こどもとのかかわり
2. 環境整備や環境構成
3. 保護者とのかかわり
4. 職員同士のかかわり
5. 保育者の資質向上



評価の基準



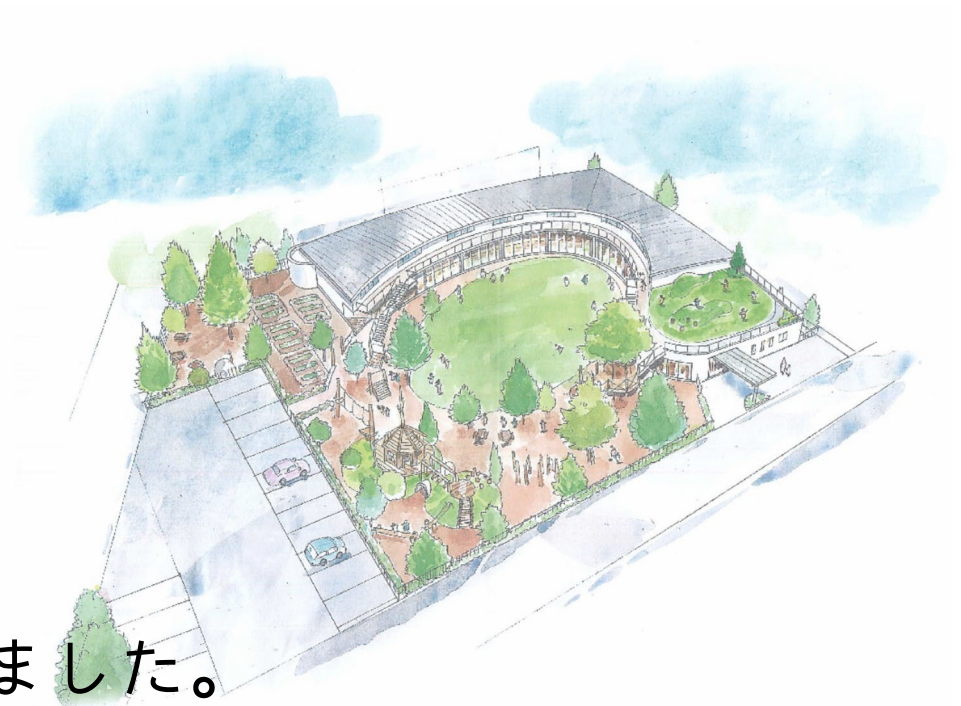
目標および各項目への達成度に対し

よくできた 3点

ややできた 2点

できなかった 1点

の選択式および記述式で評価を行いました。

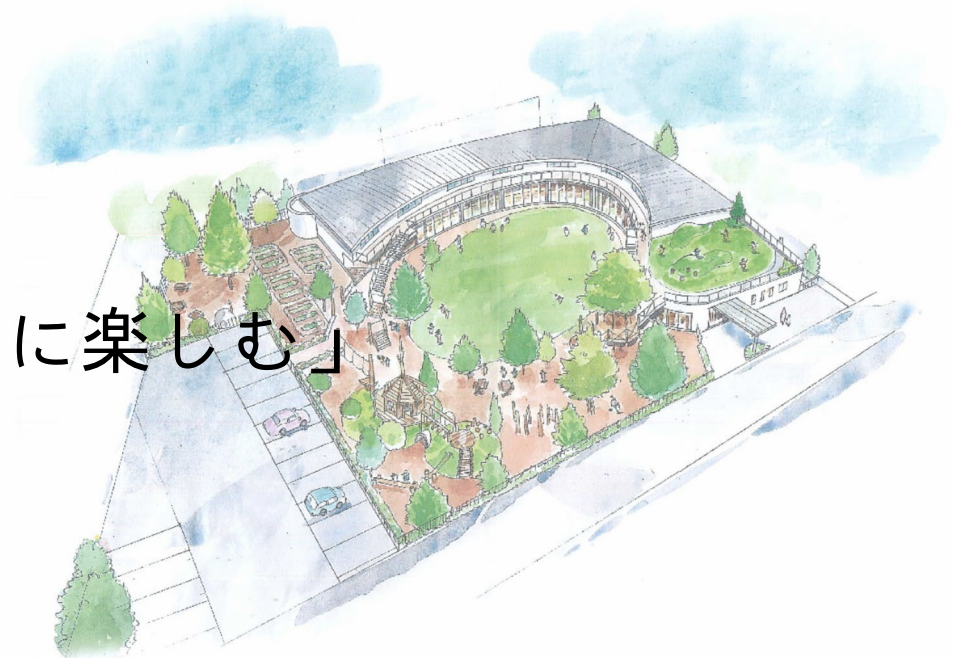




年度をとおしての保育目標

「こどもにやさしく ほごしゃにやさしく」

「こどもの楽しいを共有し一緒に楽しむ」

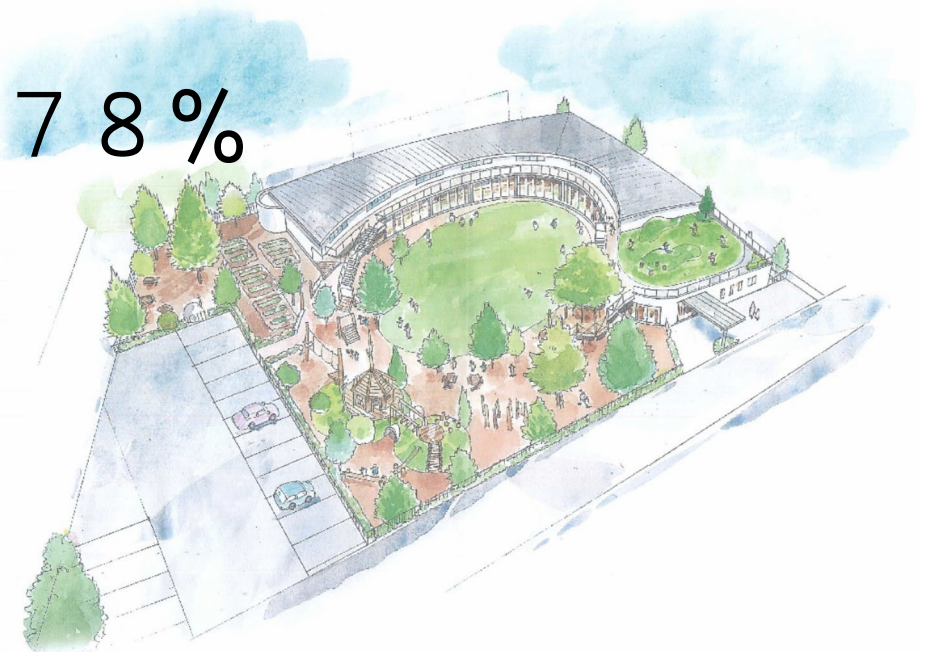


自己評価の結果



目標への達成度

78%



自己評価の結果

目標に対する評価

・自分が楽しめば、子ども達も楽しい！をモットーに、子どもの気持ちに寄り添える保育に心掛けました。

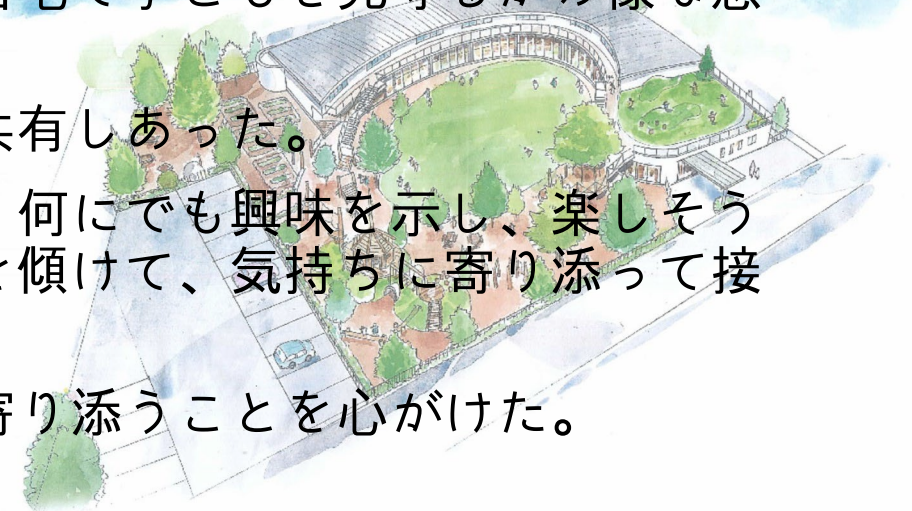
・その場の様子で子どもの意見をなかなか尊重できない時があったり、「できるはず」など、自分の思いを優先してしまったのではないかと感じたりする場面があった。

・一人ひとりの個性を見つめて、良い意味で関わり過ぎず、子どもに任せながら、視点を変えて子どもの遊ぶ様子を見たりした。自分が、まるで自宅で子どもを見守るかの様な感覚もあって新鮮だった。

・些細なことでも面白い事があったときは保育者同士で共有しあった。

・子どもが楽しんでできる活動を考えて取り入れてきた。何にでも興味を示し、楽しそうに遊ぶ姿が見られた。子ども、保護者の言葉に親身に耳を傾けて、気持ちに寄り添って接するようになってきた。

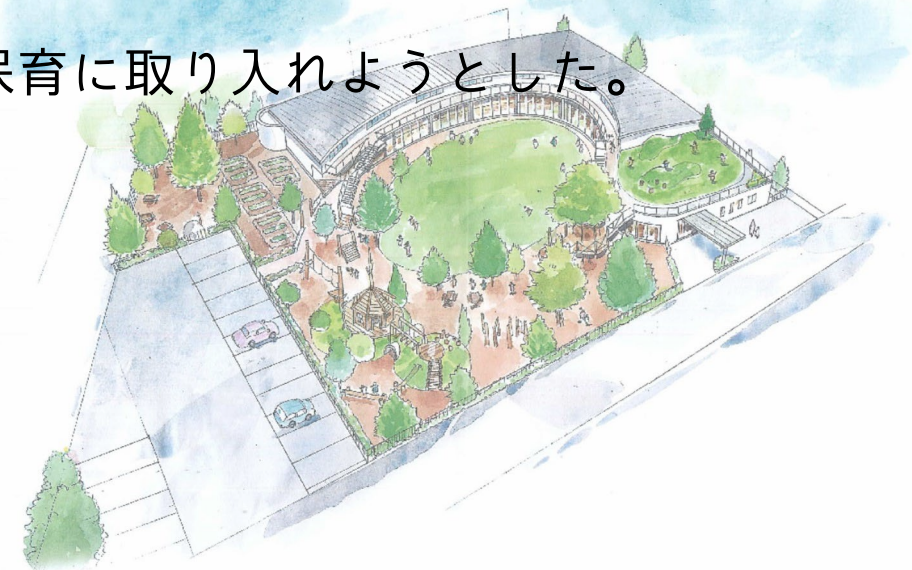
・目標達成に向けて何事にも感謝の気持ちを持つこと、寄り添うことを心がけた。



自己評価の結果

目標に対する評価

- ・子どもとは楽しく、子どもの成長したこと、できたことを伝え共有できるようにした。
 - ・子ども達ひとりひとりを平等にし、広い心で受け止め安心できる存在になれるように心がけた。
 - ・日々の子どもの様子を見て遊びに発展できた。子どもの個性や特技を見つけるのも面白かった。
 - ・毎日こどもたちの遊びに対しての反応などを見ながら保育に取り入れようとした。

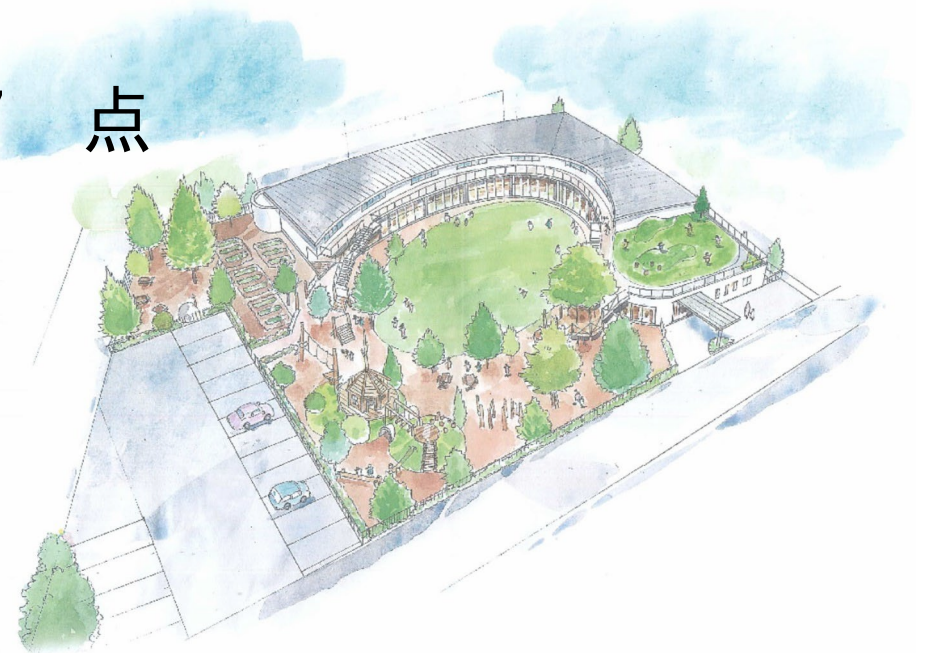




自己評価の結果

こどもとのかかわりについて

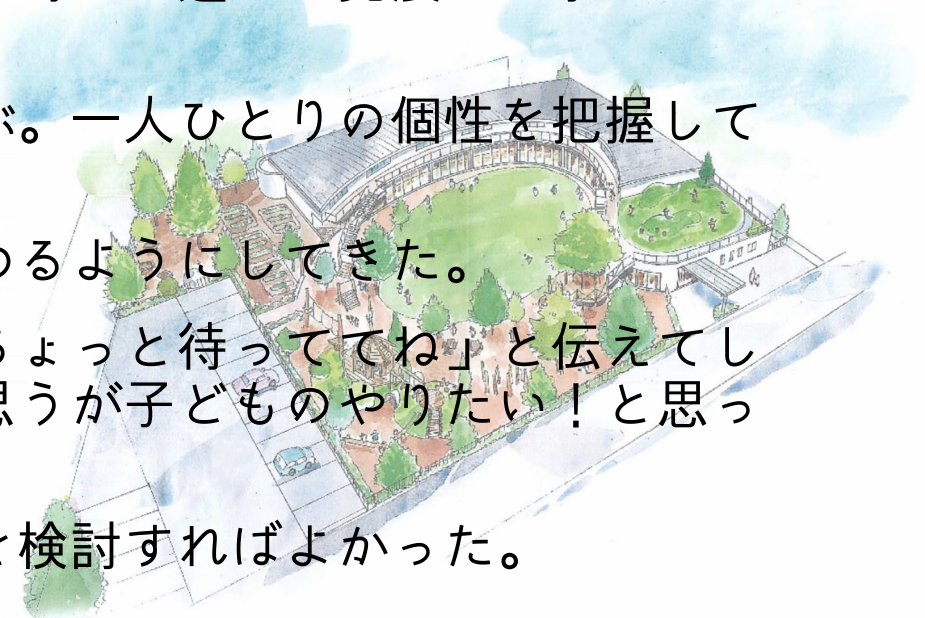
達成度の平均 : 2.7 点



自己評価の結果

こどもとのかかわりについて

- ・一人ひとりに合わせた食事や遊びを考慮し、無理なく活動できるよう関わった。
- ・意地悪や、問題だと感じた子どもの様子も、理由があるのではないかと踏みとどまって対応を考えるよう意識した。
- ・子どもが遊びに集中し楽しめるよう様子を伺いながら、時には遊びを発展させ子どもの繰り返しに最後まで寄り添った。
- ・子どもが遊んでいる時、同じ遊びをしたり関わって遊ぶ。一人ひとりの個性を把握しているかと考えることがある。
- ・一人一人と信頼関係を築き、個性を大切にしながら関わるようにしてきた。
- ・どうしても子どもに対して「今これをやっているからちょっと待っててね」と伝えてしまうことがあった。待つといった我慢する力も育むとは思いますが子どものやりたい！と思った瞬間を逃してしまっている気がした。
- ・やりたくない子の気持ちを尊重して別のものへの変更を検討すればよかった。





自己評価の結果

環境整備・環境構成について

達成度の平均 : 2.4 点



自己評価の結果

環境整備・環境構成について

・玩具が取り出しやすいよう置く位置を考慮したり、玩具の入れ替えをしたりマンネリ化にならないよう配慮した。手作り玩具を増やした。

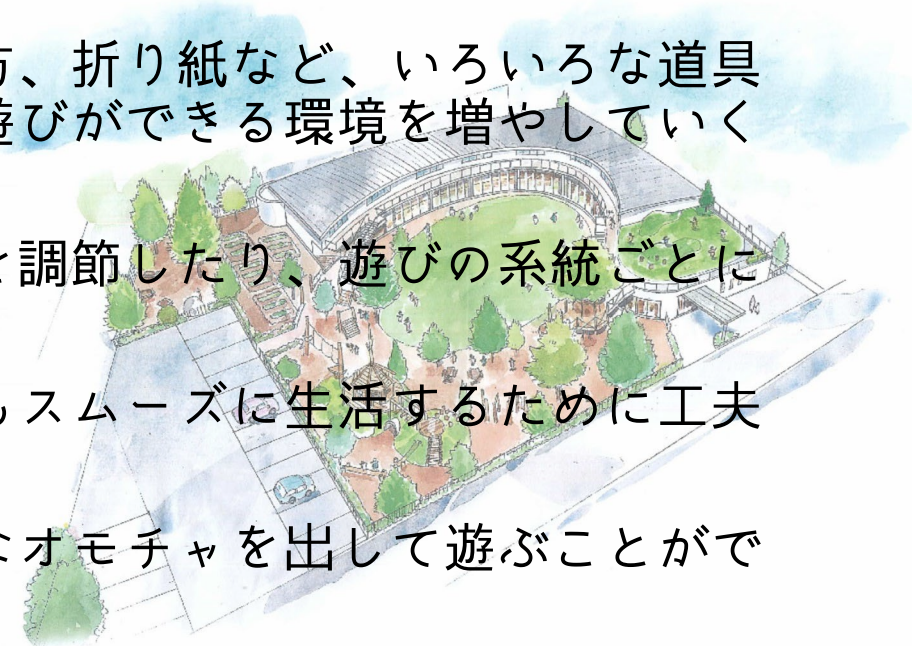
・遊びにおいては子ども主体ができたかと思うが、生活面でもっと自主性を引き出すべきか悩んだ。

・初めて経験することも多い年齢なので、ハサミの使い方、折り紙など、いろいろな道具の使い方やルールなどを確認し、成長に合わせて自由に遊びができる環境を増やしていくようにした。

・コーナー遊びでは、怪我が起きないように遊びの広さを調節したり、遊びの系統ごとに分けたりして子どもたちが遊びに集中できるようにした。

・プールの際の着替えの動線など、日常の活動の中でもスムーズに生活するために工夫が色々あるのだと感じた。

・子ども手の届く所にオモチャを並べておいたので好きなオモチャを出して遊ぶことができたと思う。

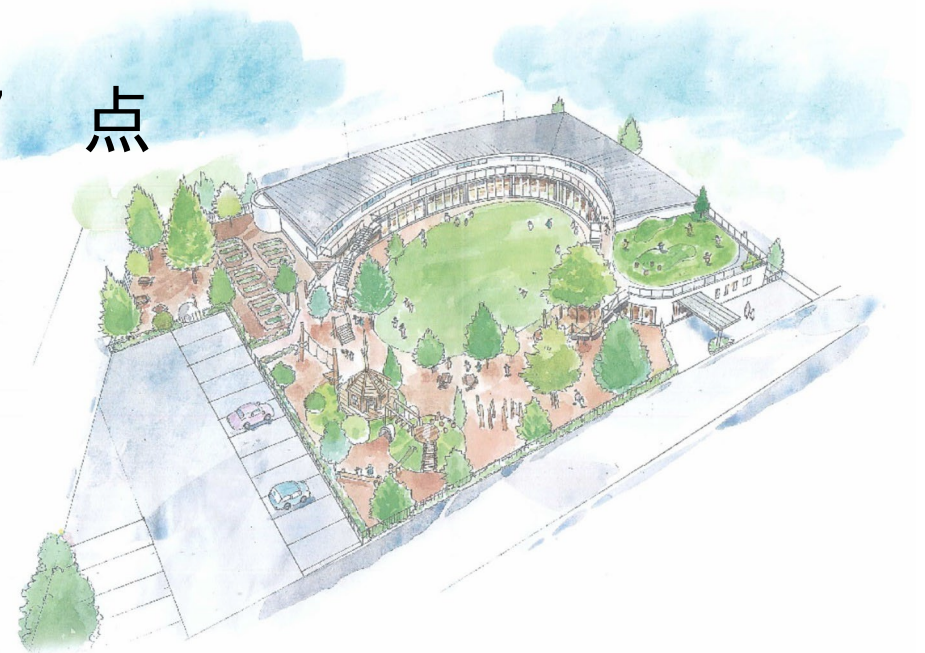




自己評価の結果

保護者とのかかわりについて

達成度の平均 : 2.7 点



自己評価の結果

保護者とのかかわりについて

- ・質問や相談を受けた際には丁寧に対応するよう心掛けた。
- ・保護者の教育方針を理解して保育しているか、迷うことがあった。
- ・明るい挨拶やコミュニケーションを図り、話しやすい雰囲気や安心してもらえるよう心がけた。
- ・保護者の方が抱えている悩みに対して一緒に考え、寄り添い、また聞いたことを共に組んでいるクラス内の先生にも共有して共通理解を心がけた。
- ・保護者からの話で気になったことは保育者間で情報共有してどうしたらいいかを話し合っていました。
- ・体調面や活動でのことなど些細なことでも共有することができた。

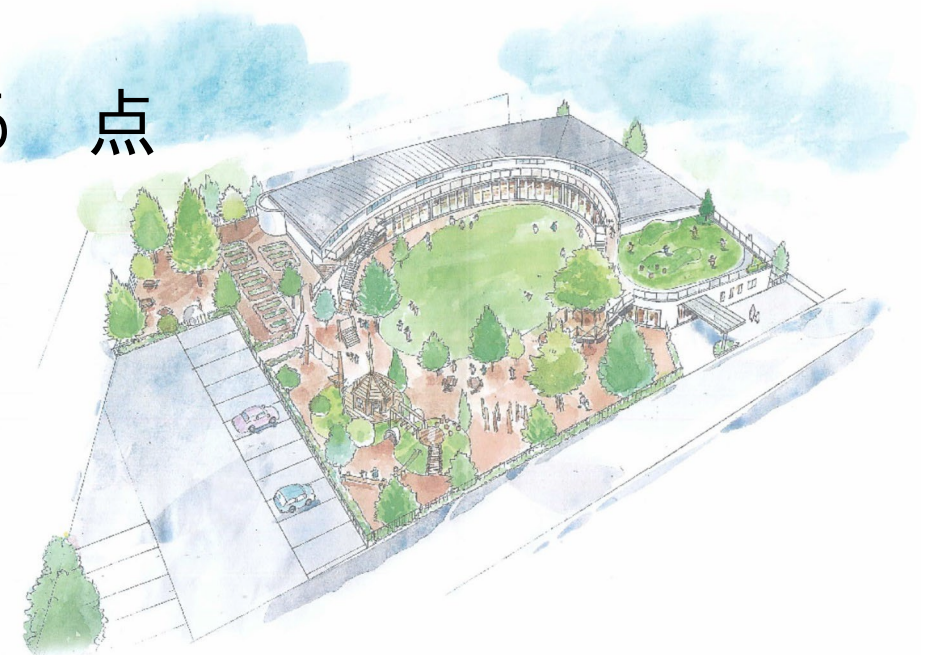




自己評価の結果

職員同士のかかわりについて

達成度の平均 : 2.6 点



自己評価の結果

職員同士のかかわりについて

・自分の意見を主張したり、考えたりする場面が昨年度に比べて少なかったのではないかと感じる。後輩職員への助言等も、もっと適切な言葉遣いや対応ができたのではないかと反省する。

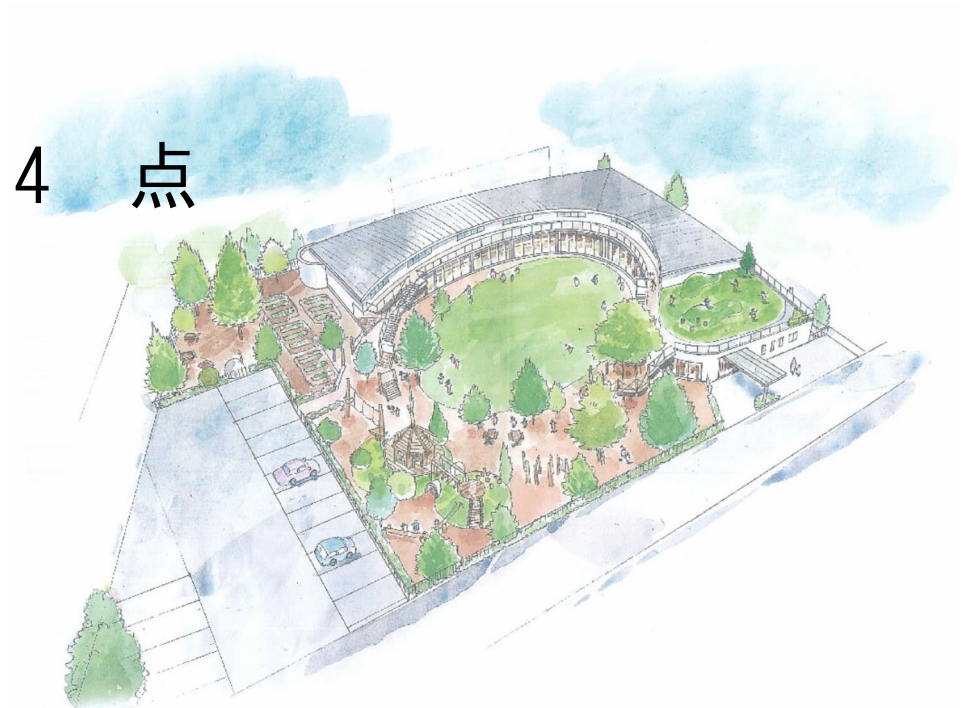
- ・クラスが忙しい時期はなかなか行事ごとなど他のクラスにまで気が回らなかった。
- ・活動について意見を出し合ったり、相手の意見を尊重する様にした。
- ・物事を決める話し合いでは自分の意見、意思も伝え、疑問に思ったことはその場で聞いた。
- ・細かなことでも確認しあったりすぐに情報交換をして共通理解に努めました。
- ・職員同士で色々な話をして楽しく保育ができた。



自己評価の結果

保育者としての資質向上について

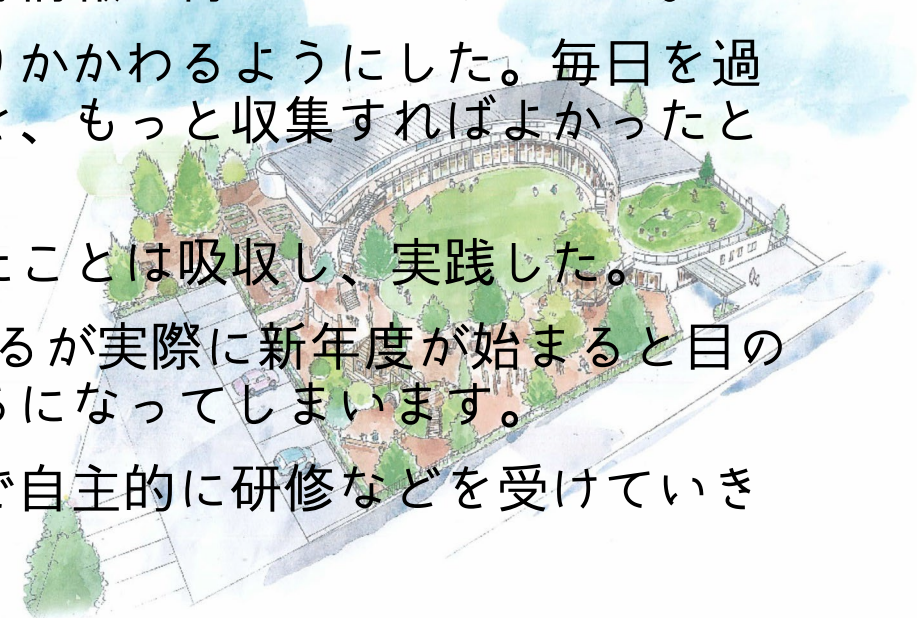
達成度の平均 : 2.4 点



自己評価の結果

保育者としての資質向上について

- ・保育者という前に人として質を高められるよう読書をしている。
- ・研修等に積極的に参加し、保育現場での事故に関して知識を増やすことができた。が、こども園に還元するところまでは出来ていない。
- ・研修に参加したり気になることは調べるなど最新の保育情報を得られるようにした。
- ・日々の保育の中で、目標を決めて子どもたちと遊んだりかかわるようにした。毎日をごすだけで、子どもが楽しめる保育ができるような情報を、もっと収集すればよかったと思う。
- ・他の先生が行っていた遊びや言葉がけでいいなと思ったことは吸収し、実践した。
- ・毎年1年の終わりにこうすればよかったなど反省点があるが実際に新年度が始まると目の前のことに夢中になってしまい、目標を決めても忘れがちになってしまいます。
- ・保育に関する知識などがまだまだなところがあるので自主的に研修などを受けていきたいと思う。



考察



園としての保育目標の共有は必然であるが、年度を通しての保育目標を設定したことで、目標に向けての意識の共有ができてきています。この先さらに少子化が進む中で、改めてこどもの権利を守り、保護者支援に努め、地域との連携を深め、子育て拠点としての役割を全うしていききたいと思います。

ご協力をお願いいたします。

